

未来の学校創造プロジェクト

(仮称)くにもみ学園構想 策定に向けて



これまでの取り組み

- ・平成24年4月 小学校5校が**国見小学校に統合**
- ・平成25年3月 季節保育所を閉所、**藤田保育所が1つに**
- ・平成25年4月 幼稚園2園が**くにみ幼稚園に統合**



保育所・幼稚園・小学校・中学校がすべて1校ずつ
0歳～中学校卒業まで 切れ目のない教育



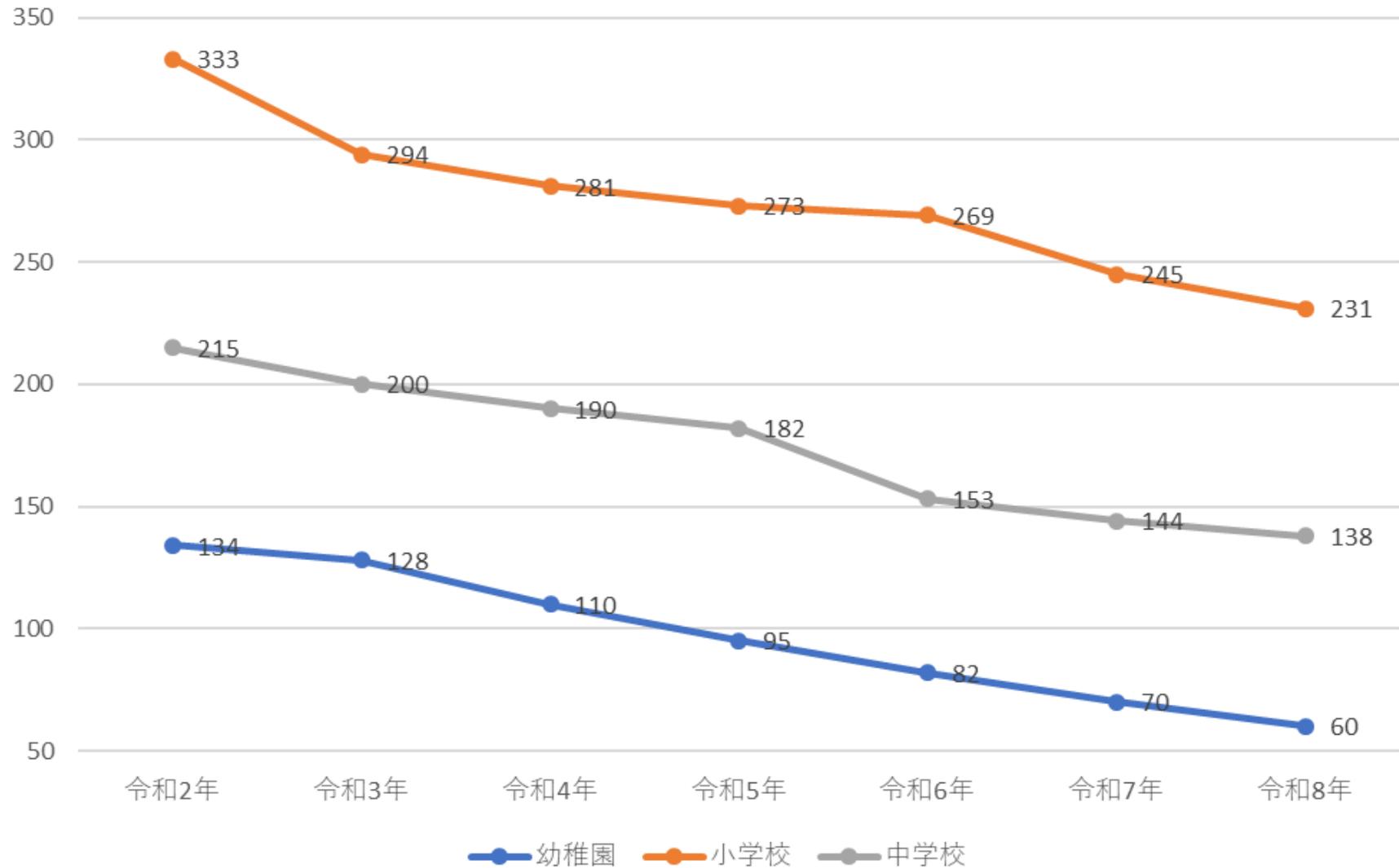
- ・平成26年12月 **国見学園コミュニティ・スクール**
- ・平成27年 4月 **地域学校協働本部事業スタート**



保幼小中連携型一貫教育
社会に開かれた学校、地域とともにある学校

幼小中に在籍の児童生徒数の推移

参考



②働く世代の減少

- ・ 共働き世帯の増加や女性の社会参画
- ・ ひとり親家庭や支援の必要な家庭の増
- ・ 地域のつながりの希薄化

<課題>

- ・ 子育てに不安(育児、経済的、核家族)
- ・ 保育ニーズの増(子育て支援)
- ・ 地域ぐるみでの子育て支援、見守り



③教育施設の老朽化

- ・ 幼稚園、小学校、中学校 ⇒ 築30年～40年以上経過
- ・ 東日本大震災、福島県沖地震の被害

<課題>

- ・ 大規模改修や耐震工事を実施、毎年の修繕費用も増大
- ・ 新しい時代の学び、ポストコロナ時代には不適合
- ・ 安全面からも大規模改修もしくは建て替えが必要



(仮称)くにもみ学園構想策定へ

- ・ 保育所、幼稚園、預かり保育 ⇒ 認定子ども園
- ・ 小学校、中学校 ⇒ 義務教育学校(小中一貫校)
- ・ 学童保育 ⇒ 児童クラブ
- ・ 給食センター ⇒ 自校方式



すべての施設を同一敷地に一体的に整備

**20年後・30年後の未来を生きる力を育み
国見町を想い、記憶に残る学びを届けたい**

基本的な要素

① 認定こども園(預かり保育含む)、
義務教育学校、児童クラブ、給食施設



すべての施設を同一敷地に
一体的に整備

② 新しい時代の学び

- ・ 「探求の学び」
- ・ 「個別最適の学び」 「協働の学び」
- ・ 「保幼小中が連続した学び」



教育課程の十分な検討

③ 国見ならではの学び

- ・ 「くにみ学園」としての学びと施設の
在り方



連携した施設づくり

④ 学校を核とした地域づくり

- ・ 「コミュニティ・スクール」 「地域学校
協働本部」を継承



社会に開かれた学校・地域
とともにある学校